45 01 09 01 01 010

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	応急手当普及啓発事業	担当課	警防課	担当係	救急管理係	管理番号	4513
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	救命率の向上には、バイスタンダー（現場に居合わせた人）による適切な処置が重要であるため、市民を対象に救命講習会を開催して、応急手当の理解と普及啓発を図る。
目的 ※何のために	応急手当の普及啓発及び正しい知識等を習得させ重要性の理解を得る。
対象 ※誰・何を対象に	市民及び市内在勤または在学者。
手段 ※どのように	救命講習会を開催し応急手当てに関する指導を行う。
成果 ※何を求めるか	バイスタンダーによる応急手当実施率の向上を図る。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	01	常備消防費	応急手当普及啓発事業	950,342
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 救命講習会の開催	・
・ 救命講習に関する消耗品・備品の購入	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			訓練用生体人形購入 ＡＥＤトレーナー購入	訓練用生体人形購入 ＡＥＤトレーナー購入	訓練用生体人形購入 ＡＥＤトレーナー購入	訓練用生体人形購入 ＡＥＤトレーナー購入	訓練用生体人形購入 ＡＥＤトレーナー購入	
事業費	予算（現額）		1,173,000	1,592,000	1,093,000	1,139,000	733,000	
	決算額		1,103,483	1,344,772	950,342	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	187,000	318,000	183,000	279,000	159,000	
		一般財源	916,483	1,026,772	767,342	860,000	574,000	
人件費	従事職員数（人）		0.75	0.75	0.90	1.00	1.00	
	人件費相当試算 ※1		5,834,250	5,836,500	7,074,900	8,148,000	8,148,000	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			6,937,733	7,181,272	8,025,242	9,287,000	8,881,000	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	普通・上級救命講習会の実施回数	目標値	回	104.00	116.00	106.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		116.00	106.00	104.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度の実施回数を目標値として設定							
		実施回数									
□	活動指標２	救命講習普及啓発回数	目標値	回							■
			実績値		5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		イベント実施回数は年ごとに増減することから目標は設定できない							
		イベント参加回数									
■	成果指標１	普通・上級救命講習受講者数	目標値	人	1,800.00	2,017.00	1,683.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		2,017.00	1,683.00	1,882.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度受講者数を目標値として設定							
		実施人数									
□	成果指標２	市民による応急手当実施率	目標値	%	50.00	48.08	54.14	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		48.08	54.14	58.96	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度実施率を目標値として設定							
		応急手当者数／心肺停止者数									
■	効率指標１	講習１回あたりにかかる費用	目標値	千円							■
			実績値		59.80	67.70	63.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		講習の回数は申込み回数により増減することから目標は設定できない							
		講習会数／総事業費									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 救命講習受講の必要性を啓発するため、市内各種イベントで心肺蘇生法の体験ができる整備をして市民理解を深めるほか、救命講習会の質を保つため、対応指導員の指導方針の統一化及び使用資器材の充実化が実施できた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 救命講習会の認知度は向上しており、受講回数は減少しているが受講者数に増加傾向がみられた。なお、認知度の向上や入電時の口頭指導効果により実施をサポートしたため、応急手当実施率は向上した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 救命講習会の実施回数が増減することから、経費の変化も伴うため目標値は設定できない。

評価者	救急管理係長　倉上　正

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	各種イベントで救命講習会の普及啓発活動を市民ニーズ別に継続をすると共に、ＡＥＤ設置事業所や学校などの教育機関へ開催案内を通知して、救命講習会受講者の増加を図る。
達成状況 及び その効果	救命講習会の普及啓発活動を救急救命士を中心に実施したことから、応急手当実施率を向上することができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	応急手当普及啓発事業	担当課	警防課	担当係	救急管理係	管理番号	4513

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

救命率向上には、救急隊が現場へ到着するまでの間、その場に居合わせた人が、適切な応急手当の実施が必要である。救命への理解を講習時に啓発することで、実施率が増加している。本事業は、市民ニーズが高まっており現状のまま継続していく。

評価者	次長兼警防課長　髙野　政之

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

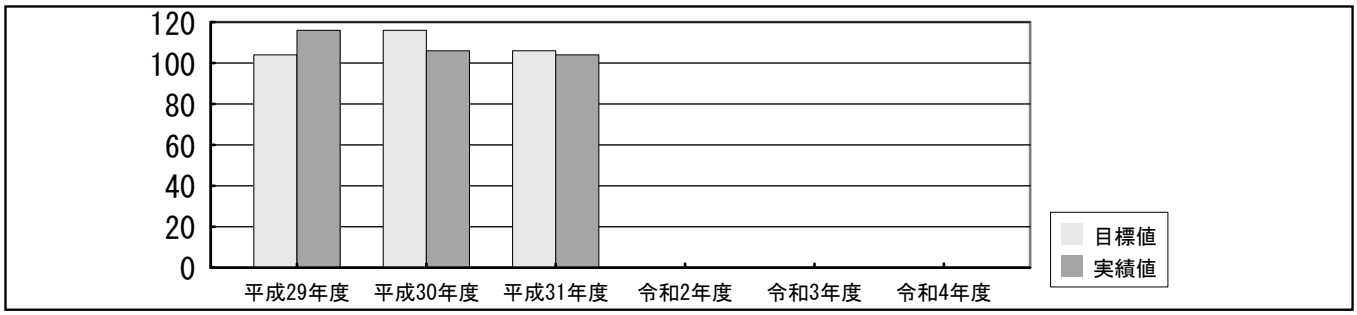
改善・改革案	各種イベントで救命講習の普及啓発活動を市民ニーズに合わせて継続するとともに、ＡＥＤ設置事業所や学校などの教育機関へ開催案内を通知して、救命講習会受講者の増加を図る。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

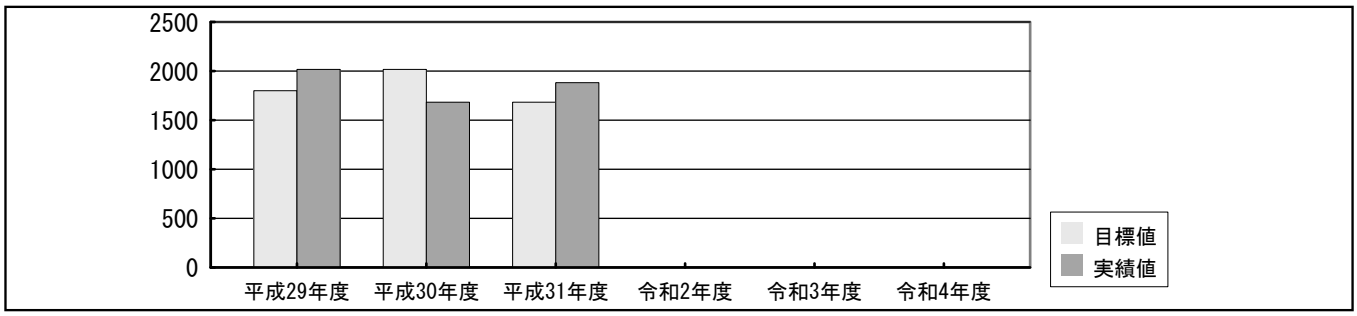
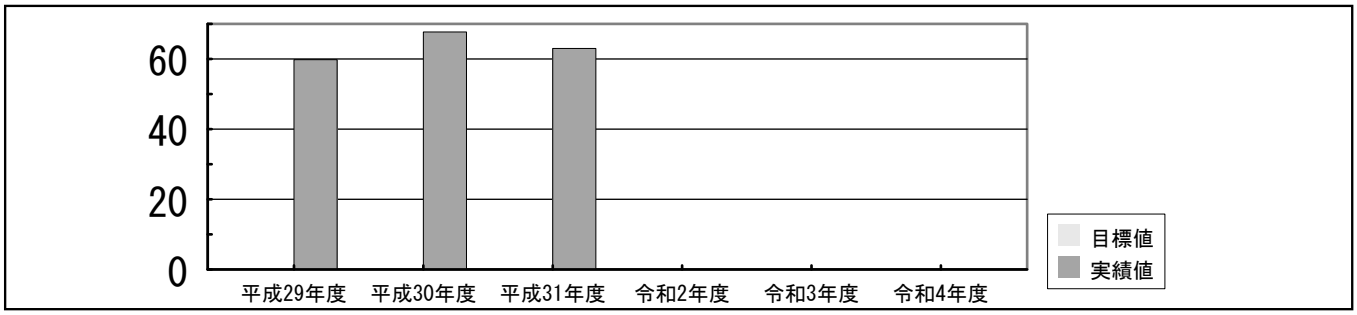
今後の課題	応急手当実施率は向上したが、救命講習会の実施回数が減少し受講者数が微増であるため、啓発活動の場を増やして受講の必要性を訴え掛けていく。また、実施回数が増加すれば資器材の劣化や消耗品の経費増額が課題である。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	普通・上級救命講習会の実施回数



区分	成果指標１	指標名	普通・上級救命講習受講者数



区分	効率指標１	指標名	講習１回あたりにかかる費用